

正確な納期を「見える化」 生産計画づくり支援 テクノア

「スケジューラー」発売

業務用ソフトウェア開発のテクノア（岐阜市本荘中ノ町、山崎耕治社長）は、多品種少量生産の製造業者に特化した生産スケジューラー「Seiryu（せいりゅう）」を発売した。自動スケジューリング機能などで作業の手間を減らし、生産計画策定の負担を軽減。自社の生産管理システム「TECHS-BK」のほか、他社システムとの連動も可能で、初年度は年間50セットの販売を目指す。

同ソフトは、複雑な操作性を排除し、飛び込み案件など急な納期変更の再調整も簡単な操作で修正できる。計画立案の専任者以外でも正確な納期を把握できるのが特徴で、製造現場の見える化をサポートする。

運用指導費や保守料を除いた販売価格は、TECHS-BK用が250万円（税別）、他社システム用は350万円（同）から取り扱う。